



国民春闘共闘

第 23 号

2019 年 3 月 18 日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

19 国民春闘 第 1 回進ちよく状況調査

すべての組合で要求書提出・回答引き出しを追求しよう

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は14日、前日の19国民春闘集中回答日を受け、加盟全単組を対象とした「第1回進ちよく状況調査」を実施し、16単産・部会・2452組合からの報告としてまとめました。

3月14日現在、別表の16単産から、交渉単位数で2,452組合の報告が寄せられました。このうち要求書提出組合は、858組合（35.0%）となっています。なお、要求提出率100%の単産・部会は、JMITU 通信産業本部、検数労連、郵政ユニオンとなっています

ストライキ権の確立状況では、調査中の全農協労連、建交労、建設関連労連・金融労連・特殊法人労連を除く1738組合の28.7%にあたる671組合でストライキ権の確立が確認されています。全交渉単位でストライキ権を確立しているのは、検数労連、郵政ユニオンで、ついで福祉保育労が79.3%の高率でスト権を確立しています。

また、要求提出組合858組合の35.0%にあたる378組合で回答を引き出しています。化学一般労連、生協労連で6割強の引き出し率になっているのをはじめ、JMITU、民放労連、出版労連で6割弱の引き出し率となっており、回答引き出し率はほぼ前年通りの状況となっています。

回答内容については、回答額提示のあった243組合での単純平均（1組合あたりの平均）賃上げ額は5,139円で、前年（5,246円）を107円下回っています。賃上げ率は、191組合平均で2.06%で、前年同期（2.08%）を0.02%下回っています。

前年の第1回集計と比べて要求提出率がやや下がっている傾向にあります。回答水準では、単純平均で、昨年水準をやや下回っており、15日に発表した第1回賃上げ集計（登録組合方式）の結果とほぼ同様の傾向となっています。

後半に向けて、すべての組合での要求書提出・回答引き出しを進めると同時に、一組合員一行動を背景に、この間すすめてきた生計費調査・春闘アンケートなどにもとづいた要求にねざした賃上げ・底上げの実現にむけて、粘り強い交渉を続けましょう。

**かちとろう 大幅賃金引き上げ、8時間働いて人間らしく暮らせる社会
とめよう 安倍9条改憲、消費税増税
職場と地域からの共同のたたかいで、未来を切り拓こう**